

お元気ですか



八女市議会です

議会だよりやめ No.171 令和3年2月1日



12月定例会から	2
ここが聞きたい！ 一般質問10人の議員が登壇	6
委員会からの活動報告	12
聞いてきましたまちの声(表紙関連インタビュー)	
「八女石灯ろう協同組合」	16

八女石灯ろう・石材採取作業光景

12月定例会

八女 支援費含む補正予算可決

一般会計補正予算（第7号）14億9791万3千円増額

主に新型コロナウイルス感染症対策事業費や7月豪雨災害による災害復旧関連事業費、新庁舎建設に伴う事業費（5億735万1千円）が計上されました。

主な内容

◆新型コロナウイルス感染症対策事業

新型コロナウイルス感染症検査助成（331万8千円）、市立図書館空調換気設備改修（3337万5千円）、母子生活支援施設大規模改修（1億4940万2千円）など

◆7月豪雨災害復旧関連事業

農林災害復旧工事（3億4130万円）、公園災害復旧工事（6600万円）など

ほかに新型コロナウイルス感染症対策予算として、プレミアム付商品券助成の追加や、指定管理施設に体温測定等ができるカメラを設置する費用、市立学校に空気清浄機購入費等の感染対策・学習保障の支援費などが計上されています。

12月定例会は、11月30日から12月18日までの19日間の会期で開催しました。市長から一般会計・各特別会計の補正予算案、条例改正案、指定管理者の指定、人事案などが提案され、いずれも原案どおり可決・同意しました。

（採決結果14～15ページ）

4～5ページに
補正予算関連記事
「委員会審査」



賛成討論(要旨)

一括での賛否となるので全体では賛成であるが、新庁舎に対する補正額5億735万1千円は、補正額としては高額ではないか。コロナ禍の中、厳しい状況が続くと予測される。先の見えない新型コロナウイルス感染症を乗り切るため、削減を願うものである。

三角 真司

条例改正

連携施設の確保や保育士の特例等

◆八女市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例及び八女市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について

【概要】家庭的保育事業等の連携施設の確保基準や施設の建築基準、保健師や看護師に加え准看護師を保育士とみなすこと等、国や県の基準に合わせるために必要な改正を行うもの。

賛成討論(要旨)

全国的にDVが過去最高に増えており、コロナ禍によっても、今の子ども達の置かれている立場には非常に厳しい現実がある。

看護師等の専門職でみなければ分からないところまで把握ができるのであれば、看護師等が登用されるという面で良い議案であると前向きに考える。

三角 真司

反対討論(要旨)

この改正は、事業者、大人の立場からだけの改正である。乳幼児の保育環境、保育の質を低下させるもので、子ども達のことを考えていると言えない。市に対象の施設はないとのことだが、条例を制定すれば今後認めざるを得ないのではないか。保護者にとって不安材料だと思われる。反対する。

松崎 辰義

人事案件

副市長

次の方を選任することに
同意しました。



まつお かずあき
松尾 一秋 氏

お知らせ

議員の市長選挙立候補に伴う失職により、不在又は欠員となっておりました役職について、次のとおり選任、指名されました。

●建設経済常任委員会 委員長、副委員長の 選任

委員長

堤 康幸 議員

副委員長

松崎 辰義 議員

●議会運営委員会委員 の指名

堤 康幸 議員

●新庁舎建設特別委員 会委員の指名

橋本 正敏 議員

がんばるバイ

新型コロナ対策第5弾

一般会計補正予算（第8号）1008万1千円増額

人件費の補正です。主な内容は、特別職の給与等に関する条例及び八女市職員の給与に関する条例の一部改正に基づく期末手当の引き下げや災害対応等に伴う時間外勤務の増加による職員手当の増額などです。

反対討論(要旨)

この議案は、人事院勧告に基づき一般職の期末手当を引き下げるものである。

ほとんどの地方自治体は勧告通りの改定を行うのが通例になっているため、地方にも当然影響が出る。また、民間企業も行政の動きに追随するため、その影響は計り知れない。

市が講じているがんばるバイ八女応援金などの経済対策にも逆行するような、職員の手当の引き下げに反対する。

森 茂生

一般会計補正予算（第9号） 5042万5千円増額

低所得のひとり親家庭に給付金を再支給するために増額し、一般会計予算総額は、523億3448万9千円となりました。



職員 の 期 末 手 当 を 減 額

◆特別職の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◆八女市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

【概要】国家公務員の期末手当の改定を踏まえ、市長などの特別職や市議会議員、市職員の期末手当を引き下げるために必要な改正を行うもの。

反対討論(要旨)

八女市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

「コロナの影響がいつまで続くか見通せない中で、労働者の賃上げと安定した雇用の拡大こそが今一番求められている。地方公務員の期末手当引き下げは、今後民間にも波及し、地域経済にとっても、強い悪影響を及ぼすものである。

市の施策にも逆行するような、今回の職員の手当の引き下げには反対である。

森 茂生

総務文教

審査の主なもの

- 令和2年度八女市一般会計補正予算(第7号)【全会一致で可決】
 - ・総務管理費(財産管理費・補償金).....5億680万円
 - ・消防費(消防施設費・消火栓設置工事負担金).....461万円
 - ・教育費(学校建設費・中学校プール改修工事費).....8970万円
 - ・教育費(図書館費・図書館営繕工事費).....3325万円
- 令和2年度八女市一般会計補正予算(第8号)【賛成多数で可決】
 - ・人件費.....1008万円

厚生

審査の主なもの

- 令和2年度八女市一般会計補正予算(第7号)【全会一致で可決】
 - ・衛生費(感染症予防費).....331万円
 - ・民生費(母子父子福祉費).....1億5076万円
 - ・民生費(自立支援給付費).....1億8646万円
 - ・衛生費(塵芥処理費).....855万円

新庁舎建設事業として用地を取得

- 問** 補償金がずいぶん高いと思うが、建物の移転費だけの金額か。
- 答** そのとおりである。補償金については国の基準があり、土地の上にある建物等はその基準で償金を算定することになっている。なお、営業の実体が認められれば、営業補償をする必要がある。
- 問** 工着手前に市民説明会をする予定は。
- 答** 用地交渉のめどが付き、実施設計が終了した状況になれば、建設工事に着手する前にすべきと考えている。
- 問** 教育費、人件費の補正は
- 答** 学校建設費のプール工事の内容は。
- 問** 学校建設費のプール工事の内容は。
- 答** 今回プール耐震化として補助が決定したためであり、南中学校のプール改修を行う。
- 問** 図書館費の内容は。
- 答** 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本館は現在ある冷暖房と換気の全ての更新であり、分館は黒木・立花・上陽・矢部の4分館の換気機器の設置工事である。
- 問** 期末手当は引き下げになったが、人件費全体はなぜ増額になったのか。
- 答** 時間外勤務手当等が多くなったことから増額の補正予算となった。



多くの人が利用する図書館にもコロナ対策

コロナ感染症に立ち向かう

- PCR検査費を助成**
- 問** 新型コロナウイルス感染症検査助成業務委託料の積算根拠は。
- 答** 3月末まで週16件を見込んでおり、65歳以上1件2万円、65歳未満1件1万円の合計216人分を計上している。
- 問** 改修工事の工程と工事中の入居者への対応は。
- 答** 工事は3月から約半年間を予定している。工事中は市営住宅に入居してもらい、引き続き指導員の支援を受けられるよううにしていくな。

※ひまわり園
18歳未満の子どもを養育している配偶者のない女子、又はこれに準ずる女子で、子どもの養育が十分できない場合に、自立に向けて支援する母子生活支援施設



みんなで新しい生活スタイルへ

- 問** 改修工事の工程と工事中の入居者への対応は。
- 答** 工事は3月から約半年間を予定している。工事中は市営住宅に入居してもらい、引き続き指導員の支援を受けられるよううにしていくな。
- 問** 図書館費の内容は。
- 答** 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本館は現在ある冷暖房と換気の全ての更新であり、分館は黒木・立花・上陽・矢部の4分館の換気機器の設置工事である。
- 問** 期末手当は引き下げになったが、人件費全体はなぜ増額になったのか。
- 答** 時間外勤務手当等が多くなったことから増額の補正予算となった。
- 問** 自立支援給付費を増額
- 問** 利用者増の要因は。
- 答** 利用者の窓口相談来訪時の情報提供や在宅サービスの受けていない方へ制度を紹介するなど
- 問** 被災家屋の解体費を助成
- 問** 他に補助対象となる家屋はなかったのか。
- 答** 令和2年7月豪雨の被害家屋は、「特定非常災害」に指定され半壊以上が補助対象となった。他にも1件あったが解体の意向がなく、今回の補助事業に該当しなかった。

議会の動き

11月

- 4日 議会だより編集委員会
建設経済常任委員会
全員協議会
新型コロナウイルス対策委員会
- 9日 議会視察受入(雲仙市議会運営委員会)
- 18日 厚生常任委員会
- 20日 新庁舎建設特別委員会
- 25日 議会運営委員会
- 30日 令和2年第6回定例会(招集日)
全員協議会
新型コロナウイルス対策委員会
八女地区消防組合議会



12月

- 2日 新庁舎建設特別委員会
- 4日 建設経済常任委員会
- 7日 本会議(一般質問)~9日
- 9日 議会運営委員会
本会議(議案審議)
予算審査特別委員会全体会
議会だより編集委員会
- 14日 各常任委員会・分科会
- 17日 予算審査特別委員会全体会
- 18日 令和2年第6回定例会(最終日)
全員協議会
新型コロナウイルス対策委員会
議会運営委員会
- 23日 八女西部広域事務組合議会
- 24日 新庁舎建設特別委員会
公立八女総合病院企業団議会

1月

- 4日 全員協議会
新型コロナウイルス対策委員会
- 5日 議会だより編集委員会
- 13日 議会だより編集委員会
- 20日 総務文教常任委員会
- 22日 厚生常任委員会

審査の主なもの

- 令和2年度八女市一般会計補正予算(第7号)【全会一致で可決】
- ・商工費(商工振興費).....4716万円
 - ・商工費(観光費).....437万円
 - ・災害復旧費(農林災害復旧費).....3億4220万円
 - ・災害復旧費(その他公共施設災害復旧費).....6600万円

指定管理施設にサーマルカメラを設置

問 観光費等の備品購入の内容は。

答 「道の駅たちばな」ほか18施設に、新型コロナウイルス感染症防止対策として発熱者やマスク未着用者の入場を制限するため、体温計測及びマスク未着用者の判定ができるサーマルカメラを22台設置する。

問 観光費等の備品購入の発行の詳細は。

答 発行総額6億6千万円でプレミアム率20%である。購入方法は前回と同様であり、発行は商工会議所と商工会で行う。

問 災害査定で補助の対象となるものは何か。

答 国庫補助の場合、農地と林道は暫定法、公共土木は国庫負担法に基づいており、基本は原形復旧である。

よう取り組んでいく。

問 令和元年度からの繰越分の工事の完了予定は。

答 11月末現在で7割程度完了している。残りの分は令和3年3月末までの完了を予定している。

問 令和元年度からの繰越分の工事の完了予定は。

答 11月末現在で7割程度完了している。残りの分は令和3年3月末までの完了を予定している。

問 市民生活に影響のある箇所から早期復旧を目指す、通常生活ができる

定は。

問 プレミアム付商品券

答 11月末現在で7割程度完了している。残りの分は令和3年3月末までの完了を予定している。

定は。



7月豪雨災害後の久木原中央線(上陽町)

一般質問の掲載について

一般質問の記事は、決められた文字数の中で、議員本人が質問・答弁の原稿を作成し、原則、原文のまま掲載をしています。

ここに掲載できない質問答弁は、八女市ホームページ等ご覧ください。各議員の顔写真横にあるQRコードをスマートフォン等で読み取ると、その議員の議会録画映像をご覧いただけます。

(データ通信料は利用者負担となります。)

ここが聞きたい！ 一般質問

質問者	質問事項	掲載ページ
高橋 信広	1 4期目の市政方針について 2 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略とSDGsについて 3 市管理のトイレについて	7
牛島 孝之	1 八女市の教育問題について 2 新庁舎、公立八女総合病院建築について。現在の八女市の財政事情は 3 農業、林業の振興についての八女市の考えは	7
三角 真弓	1 市民の安心・安全な暮らしについて	8
田中 栄一	1 4期目の市政運営について 2 学校給食について 3 ウィズコロナ社会における教職員の就業状況について	8
堤 康幸	1 中山間地域の振興と農林業の活性化について	9
川口 堅志	1 八女市の経済活動について	9
松崎 辰義	1 介護保険制度について 2 災害対策について 3 子育て支援について	10
森 茂生	1 地球温暖化対策について 2 学校給食について 3 子育て支援について	10
橋本 正敏	1 鳥獣被害対策について	11
高山 正信	1 全国で新型コロナウイルス感染症拡大が懸念されている中での対策について 2 避難所について 3 人・農地プランについて	11



映像配信
サイト



ゼロカーボンシティ※を宣言する 考えは

市長 国・県の動向を注視しながら宣言の
効果等を研究する



4期目の施政方針は
議員 八女市が目指すベ
き将来像とは。

市長 八女の恵みと誇り
を継承し、市民の安心と
成長し続けていくまちづ
くりを目指す。

議員 スポーツ・健康づ
くり都市として、スポー
ツ・運動施設のあり方は。

市長 次世代に向けて、
公式な競技大会等が開催
できることを含め、総合
的なスポーツ施設のあり
方を検討すべきと考える。
東京進出こそが首都圏か
らの移住促進策！

議員 第2期まち・ひと・

しごと創生総合戦略の策
定までのプロセスとスケ
ジュールは。

課長 現総合戦略を検証
し、事業効果等を分析し
ている。また、開催要項
に基づき16名の有識者懇
談会で意見を聴きながら、
委託せずに庁内連携して
策定に当たっている。

議員 国の方針は、首都
圏人口集中の是正が明確
であり、この機に東京事
務所を検討する考えは。

課長 首都圏からの移住
は重要であるが、アンテ
ナシヨップを拠点に福岡
市をターゲットに検討す
ることを考えている。

市長 相当の財源が必要
であり、費用対効果の判
断は他自治体の状況を見
極める必要がある。

※ゼロカーボンシティ
2050年に温室効果ガス
の排出量又は二酸化炭素を
実質ゼロにすることを目指
す旨を、首長自らが又は地
方自治体として公表された
地方自治体のこと。



映像配信
サイト



北朝鮮拉致問題について、今後児童 生徒に対してどのように教えるのか

教育長 それぞれの学校において社会科の時間に
学習している

議員 全ての学校でやっ
ているのか。

課長 すべての学校には
至っていない。

議員 北朝鮮人権侵害問
題啓発週間はいつか。

課長 毎年12月10日から
16日の1週間となってい
る。

**庁舎問題、公立病院問題
について**

議員 公立病院の建て替
え事業費約140億円は
過去全員協議会において
説明されたものであるが
市としての考えは。

市長 私には確かな企業
団からの考えとしては聞
いていない。

議員 自伐型林業におい
て必要な機械、小型バッ
クホウ、あるいは林内作
業車、チェーンソー、そ
ういうものに対する補助
は今現在あるのか。

課長 一定の要件はある
が、県の森林環境税を活
用した自伐用林業機械の
導入に対する支援がある。
市においても間伐、造
林等における20%補助等
をやっている。

議員 農業、林業についての八
女市の考えは

議員 林地は八女市の土
地の何%か。

課長 八女市の総面積に
対し65.3%、森林総面
積で3万1525ヘク
タールである。



三角 真弓



映像配信
サイト



地域のゴミ出し支援への具体的な対策は

課長 民生委員児童委員・社会福祉協議会と連携し体制を構築する

議員 ゴミ出しに困っている実態の把握を来年3月までに調査を終え、令和3年度に予算化されるのか。

課長 体制に係る経費を予算要求している。

議員 中山間地域の実態把握へ所管部長が現場へ行き、各支所との意見交換を行っているのか。

部長 各支所等へは出向いていない。必要なことは情報が集まっている。地域公共交通網形成計画の進捗状況は

議員 乗合タクシーや路線バスでは利便性が悪く、運転免許証の返納も困難な方々への対応に、官と民とのプロジェクトを立ち上げてはどうか。



ゴミ出し支援は待ったなし

副市長 しっかりと課題を洗い出し、解決に向けてスピーディーに取り組み

議員 地域住民の複雑化、複合化したニーズに対応する断らない支援体制の整備として①相談支援②参加支援③地域づくりに向けた支援―この3つの支援づくりが急務であるのではないか。

部長 重要な課題と認識。

出す時間とよ
の時間帯！
ゴミ収集する
すとの時間帯
すとの時間帯
燃や時間
時間整う

安心・未来・誇り・成長の公約を示されたが市政運営の具体的施策は

市長 誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを創造していく

田中 栄一



映像配信
サイト



安全・安心な学校給食を

教育長 採択を尊重し、業務システムや必要な人員等について、導入自治体の状況を調査し、慎重に検討している。

議員 給食費無償化についての考えはあるのか。

教育長 国への要望活動を続けて参りたい。

議員 ウイズコロナ社会下の教職員の業務実態

議員 教職員の負担が増大していないか。また負担軽減はどうしているのか。

教育長 児童生徒の健康チェックや机・ドアノブ・スイッチなどの消毒作業が増えたが、スクールサポートスタッフ・学習支援員を各学校に配置して、安全確保に万全を期している。

市長 新庁舎建設は、老朽化や耐震性不足、防災拠点の機能強化から優先すべき事業である。また地域の成長を支える国道3号など主要幹線道路整備を進める。公立八女総合病院は、関係自治体・企業団と緊密に連携し地域医療体制の強化を図る。

議員 学校給食の公会計化

議員 採択請願の給食費公会計化の検討状況は。

※給食費の公会計化
学校給食費収入と食材費支出を学校独自の会計（私会計）で管理せず、市の予算に計上し管理すること。



映像配信
サイト



通行の安全確保に陰切りの早急な実施が必要と考えるが

課長 区長会からの要望により、優先順位を設けて対応していく

携帯電話不感地域解消の現状と進捗は

議員 第4次総合計画に掲げた目標は達成したのか。

課長 居住地域の不感3カ所の内、星野地区の解消ができていない。

議員 中山間地域の振興には、非居住地域の不感解消が必須と考えるが。

課長 移住・定住や産業振興に重要性が増している。地域を聞きながら取り組んでいく。

議員 親元就農者への支援策は、支援策の内容は。

課長 国の農業次世代投資事業を活用しており、準備型と経営開始型に分類されていて共に交付額



市道渡内鹿子生線（串毛地区内）

は年間最大150万円。事業採択の条件には、就農5年以内に経営を継承すること、新規品目を導入することが求められる。

また市の独自支援で経営開始型に1年当たり50万円の補助をしている。

議員 公有林管理の現状と今後の活用策は

議員 管理の現状は。

課長 令和元年度は約45haを施業。内容は、間伐・下刈り・造林である。

議員 林業振興のためどう活用していくのか。

課長 家具等の活用に注目されている。梅檀（はんとん）の試験植栽や技術研修の場としての活用を計画している。



映像配信
サイト



コロナ禍の中、八女市の今後の経済活動はどのように考えているか

市長 適切な感染防止対策を徹底した上で対応していく

議員 来春より各種イベントが予定されている中、安全対策を講じれば開催可能なイベント等もあると思うが、どの規模まで容認されるか。

課長 規模的には屋内イベントであれば、収容率の50%もしくは、上限5千人を容認している。

市で実行の決定をするというより、各実行委員会と検討しながら進める。

議員 屋内でのイベントの際の来賓参加は現段階では不可能と思うが、屋外のイベント等でも強固な自粛が必要なのか。

課長 市自体のイベント時の来賓に対する申し合わせ事項はない。そのた

議員 今後のイベント等

市長 大変心配しているところである、今後の方針は、コロナウイルス感染症対策と経済活動を並行して進めて行く。問題のない事業は再開する。



2019年のライブイベントの様子
早く通常の生活に戻りたいものです

め強固な自粛を要請するものではない。

議員 今後のイベント等はどのような取り組みにするのか。

市長 飲食業の安全対策

課長 各種業界団体でガイドラインが作成されている。市としては、国・県の動きを注視し、商工会議所・商工会等、各種団体と連携を取り対応する。

松崎辰義



映像配信
サイト



要介護認定者の障害者控除対象者認定については、どう変わるのか

課長 主治医意見書と訪問調査員の判断基準のみにより判断する

議員 主治医の意見と訪問調査員の意見が違う場合はどうするのか。

課長 そういう場合は障害者認定の重たい方を使っていきたい。

議員 要介護4〜5が特別障害者控除と考えてもいいのか。

課長 要介護4〜5が特別障害者控除に直接結びつくものでない。特別障害者控除の判断基準で対象になると考えている。家族の負担も考慮し、制度が活用されるよう努めたい。

災害対策について

議員 昨年から今年と、毎年水害が起きている。しかも、昨年被災した同



じ場所が被災している。原形復旧が基本といわれるが、これでは何もならない。もっと頑丈な復旧を県に要請すべきではないのか。

室長 市として、そういう申請の努力はしている。

議員 今、1級河川の氾濫が多くなっている。1級河川の見直しも検討されていると聞く、八女市総合計画の作成中でもある、今後10年間で何とかしたいという気持ちでやってほしい。

市長 今日まで様々な災害が発生しているの、しっかりと取り組んでいく。

森茂生



映像配信
サイト



保育所等の指導監査の結果は

課長 処遇加算1・2全ての賃金に加算されていた

地球温暖化対策について

議員 菅総理が2050年までに温室効果ガスを実質ゼロにする宣言を行った。今後自治体にも新たな数値目標が示されると思う。八女市では新

庁舎建設が計画されているが、先を見越し、温室効果ガスを実質ゼロに削減する庁舎建設を目指すべきでは。

課長 省エネに優れた設備等を取り入れ75%削減する計画を立てている。

議員 「ゼロ」を取り入れる計画があるようだが、これは通常のビルより温室効果ガスを75%削減することだと思う。是非そ



二酸化炭素排出量が一番多いのが石炭火力発電。日本は削減せず増設しているため世界から批判。2030年までにゼロにしよう！

の方向でお願いしたい。決断を伺う。

市長 ご指摘の件は調査し、どの程度可能になるか検討する。

学校給食について
議員 八女市は農業が基幹産業の市である。学校給食の食材は地産地消を推進してほしい。

教育長 地産地消の観点からも米飯給食の回数を増やしていく。

※ゼロ

ネット・ゼロ・エネルギービル（略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと。



映像配信
サイト



鳥獣被害対策は

市長 全国の取り組み事例も参考に
被害防止対策に取り組む

議員 イノシシによる被害と捕獲頭数は、
8女市の令和元年度の農林作物の被害額は5800万円、捕獲頭数は約2600頭である。
議員 5年前に比べると減少しているが、主な仕事は農業という基幹的農業者数も九州7県で約23%以上減少している。個々人の被害はむしろ拡大しているのではないかと。防護柵等の設置状況と支援には何かがあるか。

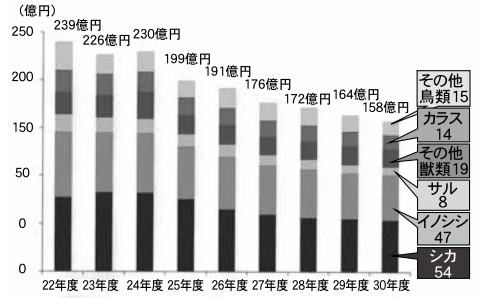
課長 昨年度までに防護柵について国の交付金で1700kmのワイヤーメッシュの設置があり、市単独事業で上限10万円、

議員 30%の補助がある。直しが必要ではないか。

議員 補助率、上限の見直しが必要ではないか。
市長 猟友会の意見を聞きながら検討していく。
議員 捕獲檻に最先端機器導入の考えはあるか。
課長 猟友会とセンサーカメラやドッグナビ等の活用の取り組みを検証中である。

議員 捕獲したイノシシの食肉加工、処分はどうなっているか。

課長 ギベ工食肉処理、加工と自家消費の他捕獲員による埋設処分がある。
市長 食肉加工施設は関係市町村で県に要望していく。



全国の農作物被害額の推移

(出典) 「全国の野生鳥獣による農作物被害状況について状況について」農林水産省

農業での移住定住の、専門コーディネーターを配置しては

市長 農業にとって極めて重要な課題で
担当部局とも協議する

議員 非常用発電設備があるのは何施設か。
課長 非常用発電設備を備えている所は、黒木庁舎、立花庁舎である。
議員 中長期の停電になる場合、温浴があるべながら村やグリーンピア八女などの観光施設は使用できるか。

課長 停電になった時には使えない。
議員 電気自動車の導入を考えてほしいが。

議員 避難所についての電源確保というところで十分研究したい。
議員 災害停電時の避難所施設へのエネルギー供給などが可能な再生エネルギー設備のいち早い整備が必要ではないか。

市長 市民の皆さん方の命、健康を守っていくために、今後十分エネルギー対策について検討する。
議員 中山間地での地域ごとの話し合いはどのような進め方をするのか。
課長 集落協定の協力を仰ぎ、進めていく。

映像配信
サイト



立花庁舎の非常用発電設備

矢部清流学園

学校地域家庭をつなぐ教育とは

〈総務文教常任委員会〉

10月21日

矢部清流学園は、平成28年に矢部小・矢部中PTA合同三役会が矢部地区に将来も学校を残すための話し合いを始め、令和2年4月開校しました。

「矢部のきれいな川のように澄んだ心もち、ふるさと矢部を大切にする子どもたちに育ち、大きく羽ばたいてほしい」という願いが込められた校名の由来を伺えば、矢部の人々の想いが強く胸に響いてきます。

また、中体連も人数が揃わないので全員参加し、たとえ走るが遅い子どもも久留米市の陸上競技場で走る経験もしていると

学校・地域・家庭が一体となった 矢部清流学園 『総がかりの教育』

- 豊かな自然環境
- 忍耐力・しんぼう強さ
- 校内および地域内での経験値の高さ
- 安心に満たされている子どもの優しさ
- 極小の個別指導
⇒質の高い教育
- 地域の人々の見守り・優しさ・「手出し」

地域しごとづくり

拠点施設「南仙荘」

10月21日



黒木町今の「南仙荘」は、企業の本社等から離れた場

所に設置されるサテライトオフィス誘致のためのお試し施設として平成31年4月に開設しました。

様々な人が集いつながることで、新しい「もの・こと」を生み出す場所として期待されます。

のこです。

何をすることも、子ども達と地域の皆さんが一緒に、心温まる郷の学校でした。

調査を終えて

郷の特徴を生かし、学校と地域と家庭が知恵と愛情を全ての子どもに注ぎ育てていく、これこそ「ミニニティスクール」の代表と言えるでしょう。

(大坪 久美子)

児童の安全・安心を

学童保育所を調査

〈厚生常任委員会〉

10月21日

委員会では所管する行政事務を随時調査しています。今回は、10月21日に黒木町の木屋、黒木、あゆみ、黒木西の各学童保育所を訪問し現状について説明を受けました。

木屋、黒木、黒木西学童保育所は、以降19時まで延長保育となりません。

【木屋】

平成14年3月に建設され現在に至っています。10月1日現在30人(定員50人)が利用しています。

【黒木】

当初、用務員宿舎を利便していましたが手狭となり、平成29年3月に増築し現在に至っています。10月1日現在44人(定員57人)が利用しています。

【あゆみ】

平成23年度から学童保育所を開設、平成25年12月の保育園建設時から、



学童保育所ヒアリング

園内の一部を学童保育所に使用されています。10月1日現在26人(定員24人)が利用しています。

【黒木西】

黒木西小学校の空き教室2部屋を利用して、定員78人で開設されています。10月1日現在35人が利用しています。

調査を終えて

「〇ナ禍の中、各施設とも熱意と愛情あふれる対応で児童の安全・安心の確保に努められています。

児童保育の環境は格差があつてはならないし、施設ごとに多くの課題もあります。今後適切に調査を進め、課題解決に注力して参ります。

(田中 栄一)

安心して過ごせる場所に



「焚火の森」キャンプ場つて

どんな施設？

〈建設経済常任委員会〉

12月4日

シャワー、エアコン、焚火台が設置されます。
 ●コテージは2棟で、6人用の建物です。ベッド、キッチン、ユニットバス、エアコン、薪ストーブ、焚火台を設置します。

この拠点施設として再整備されるものです。

黒木町笠原地区には、「きのこ村」というキャンプ場がありましたが、平成24年の九州北部豪雨により流失してしまいました。

この災害からの復旧にあたり、地元から強い要望もあり、復旧のシンボルとして、地域と都市との交流、多世代の交流、森林環境の教育の場とし

ア、お茶バー、販売エリア、トイレ、事務室等のバックヤードを予定しています。キャンプ場のコンセプトは「焚火」なので、薪ストーブ、薪セラーが設置されます。

●キャビンは3棟で、4人用の建物です。ベッド、キッチン、トイレ、

この事業費は約5億円です。区画に区切りを設けず、複数のサイトを一つの団地で利用できるようになっています。

●サニタリー棟は、利用者用の水回りの施設で、炊事場、トイレ、ユニットシャワーが設置されます。

まだまだ施設の全体像は見えませんが、大自然の中のステキな施設です。

また、お茶バー、販売エリア、トイレ、事務室等のバックヤードを予定しています。

キャンプ場のコンセプトは「焚火」なので、薪ストーブ、薪セラーが設置されます。

(松崎 辰義)

広川町

住民一人一人の健康は 私たちが守る!!

〈厚生常任委員会研修報告〉

11月18日

特定健診受診率向上は、当市の大きな課題ですが、広川町の令和元年度受診率が71%であることを知り、調査しました。

健康係長から、資料を基に分かりやすい説明をいただく中で、熱意と本気度が伝わった有意義な研修でした。

熱意と根気で受診勧奨！

平成27年から個人カルテ記録表、受診勧奨時のやり取りなど住民一人一人の健康情報が記入されたみが始められています。重要な資料となっています。特に、特定健

診者は国保データの情報を基に、対象者全員のカルテを作成されていることに意義があります。

受診勧奨は、三つの地区担当チームにより、電話や訪問により、一人一人に個人カルテ

を活用して丁寧に説明されています。中には玄關さえ開けてくれなかった住民も、担当者の熱意と根気に負け、次第に顔なじみになり、受診につながる場合もあるようです。

特定健診のきっかけ作りとして、令和元年7月に全国的にも数少ない血管内皮機能検査機器が導入されています。血管状態を把握することができ

る大変有効な検査であり、評価も高く多くの住民に利用されています。

何よりも「住民一人一人の健康を一緒に守る」が、原点となっています。手段として、より多くの住民が特定健診を受診するための徹底した動機づけを行い、その結果、生活習慣病の医療費削減の実現を使命として取り組んでいることが強く印象に残りました。

(高橋 信広)

八女市はどう生かす

何よりも「住民一人一人の健康を一緒に守る」が、原点となっています。

手段として、より多くの住民が特定健診を受診するための徹底した動機づけを行い、その結果、生活習慣病の医療費削減の実現を使命として取り組んでいることが強く印象に残りました。

何よりも「住民一人一人の健康を一緒に守る」が、原点となっています。

健診受診率を上げる取り組みとは

健診受診率を上げる取り組みとは、三つの地区担当チームにより、電話や訪問により、一人一人に個人カルテを活用して丁寧に説明されています。中には玄關さえ開けてくれなかった住民も、担当者の熱意と根気に負け、次第に顔なじみになり、受診につながる場合もあるようです。

12月定例会の採決結果 (令和2年第6回定例会)

議案番号	議案名	採決結果
議案第94号	専決処分について(令和2年度八女市一般会計補正予算(第6号))	承認(全会)
議案第95号	八女市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に基づく固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について 説明: 省令の名称変更に伴い必要な改正をするもの	可決(全会)
議案第96号	八女市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例及び八女市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について 説明: 家庭的保育事業等の連携施設の確保基準等を改正するもの	可決(多数)
議案第97号	八女市重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について 説明: 医療費助成受給対象者の所得制限や入院自己負担額を変更するもの	可決(全会)
議案第98号	八女市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について 説明: 国民健康保険税の減額に係る所得基準額引き上げ等の改正をするもの	可決(全会)
議案第99号	八女市立図書館条例の一部を改正する条例の制定について 説明: 図書館矢部分館の位置を変更するため必要な改正をするもの	可決(全会)
議案第100号	市道路線の変更について 説明: 市道岡山31号線、岡山335号線の変更によるもの	可決(全会)
議案第101号	市道路線の廃止について 説明: 市道岡山35号線、岡山301号線を廃止するもの	可決(全会)
議案第102号	指定管理者の指定について(八女伝統工芸館・八女手すき和紙資料館、八女観光物産館、八女民俗資料館)	可決(全会)
議案第103号	指定管理者の指定について(八女市地域福祉センター)	可決(全会)
議案第104号	指定管理者の指定について(八女市下横山コミュニティセンター)	可決(全会)
議案第105号	指定管理者の指定について(八女市横町町家交流館)	可決(全会)
議案第106号	指定管理者の指定について(八女市奥八女焚火の森キャンプフィールド)	可決(全会)
議案第107号	八女中部衛生施設事務組合の共同処理する事務及び事務所の位置の変更並びに八女中部衛生施設事務組合規約の一部を改正する規約の変更について 説明: 新し尿処理場(汚泥再生処理センター)稼働に伴い改正をするもの	可決(全会)
議案第108号	令和2年度八女市一般会計補正予算(第7号)	可決(全会)
議案第109号	令和2年度八女市介護保険事業費特別会計補正予算(第2号)	可決(全会)
議案第110号	令和2年度八女市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決(全会)

議案番号	議案名	採決結果
議案第111号	令和2年度八女市矢部診療所特別会計補正予算(第1号)	可決(全会)
議案第112号	特別職の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 説明: 特別職の期末手当を減額するため必要な改正をするもの	可決(全会)
議案第113号	八女市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について 説明: 一般職の職員の期末手当を減額するため必要な改正をするもの	可決(多数)
議案第114号	令和2年度八女市一般会計補正予算(第8号)	可決(多数)
議案第115号	令和2年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算(第3号)	可決(全会)
議案第116号	令和2年度八女市介護保険事業費特別会計補正予算(第3号)	可決(全会)
議案第117号	令和2年度八女市矢部診療所特別会計補正予算(第2号)	可決(全会)
議案第118号	令和2年度八女市水道事業会計補正予算(第2号)	可決(全会)
議案第119号	令和2年度八女市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全会)
議案第120号	令和2年度八女市一般会計補正予算(第9号)	可決(全会)
議案第121号	副市長の選任について 《松尾 一秋》	同意(全会)

は賛否が分かれた議案です

賛成・反対が分かれた議案の賛否一覧

○: 賛成
●: 反対
欠: 欠席
—: 議長
議長は採決に
加わりません

	1	2	3	4	5	6	7	8	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
	中島	高山	青木	川口	橋本	田中	堤	高橋	牛島	萩尾	服部	大坪	寺尾	栗原	三角	森	栗山	井上	川口	松崎	角田	
	信二	正信	勉	堅志	正敏	栄一	康幸	信広	孝之	洋	良一	久美子	高良	吉平	真弓	茂生	徹雄	賢治	誠二	辰義	恵一	
議案第96号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	—
議案第113号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	○	○	○	○	●	—
議案第114号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(9は現在欠番)

報告 (報告事項のため採決はありません)

報告第11号	専決処分について(事故による損害賠償)
報告第12号	専決処分について(事故による損害賠償)
報告第13号	専決処分について(事故による損害賠償)

聞いてきました まちの声

表紙によせて VOL. 4

八女石灯ろう協同組合 理事長 橋山 安由氏

はしやま やすよし



八女市長野にて、橋山石灯籠製作所を営む橋山理事長に八女石灯ろう協同組合の活動状況、特徴、事業継承などについて伺いました。八女石灯ろうについて熱く語っていただきましたが、特に後継者問題や販売減少など伝統工芸品に対する先行きの不安がある中で、次世代につないでいこうという意欲が話の端々にうかがえました。

組合の設立から現在までの状況をお聞かせください。

正確には分かりませんが江戸時代に設立されたようです。ピーク時の昭和45年には、組合員80軒程ありましたが、現在は15軒まで減少しています。

組合としてどのような活動をされていますか。

以前はハワイまで石材を輸送し、実演を行ったり、デパート等に出店していました。また、品評会等のイベントも開催していましたが、現在は、特に決まった活動はありません。

八女石灯ろうの特徴をお聞かせください。

9万年前に阿蘇山が大爆発し火山灰が堆積してできた凝灰岩を材料として、石灯ろう以外でも墓石、石碑、仏像などを制作しています。凝灰岩は、柔らかく削りやすい性質があり、さまざまな種類の製品を造ることができます。



石灯ろうにはいろいろな型がありますが八女石灯ろうの代表的な型は、年月が経つにつれて、和の味わいでる木型が特徴です。

業界の販路や販売方法について伺います。

従来は、全国に出張販売していましたが、現在は、主に植木業者に販売しています。最近では、時代に応じてインターネットを活用した販売も増えています。

伝統工芸として次世代に継承していくためのお考えをお聞かせください。

一番難しい問題です。若い後継者を育成することが、今後の重要な課題と捉えています。

市議会に期待することは何でしょうか。

経済が上向くような政策を、市議会に対しても大いに期待しています。

議会を傍聴しませんか？ 次回定例会

2月24日(水)予定
立花庁舎議場 午前10時から
八女市議会事務局 23-4922



スマートフォンやタブレット端末で
議会中継を見ることができます

<http://www.city.yame.fukuoka.jp/shisei/12>
インターネットから「八女市議会」を検索
「議会インターネット中継」をクリック！

編集後記

「コロナ禍の中、日本全国の経済がマヒしています。▼日々対策会議が取り行われ、国・県・市は、あらゆる手段にて国民の生活を守るうと必死です。▼このような事態においては、我々一人一人が危機意識をしっかりと持って、この難局に立ち向かわなければなりません。一日も早い終息を願います。」

川口 堅志

発行責任者 議長 角田 恵一
議会だより編集委員会
委員長 高橋 信広
副委員長 大坪久美子
委員 松崎 義
委員 井上 賢治
委員 牛島 孝之
委員 堤 康幸
委員 田中 栄一
委員 川口 正信
委員 高山 信

